

龍谷大学 > 理工学部 > 樋口 > 担当科目 > 2015 年 > 計算科学☆演習 II > 講義のファイナルト
ライアル案内

計算科学☆演習 II 講義のファイナルトライアル案内

講義のファイナルトライアルは次のように行います。科目の成績 100 ピーナッツ中 40
ピーナッツです。

Part 1: (開始時刻)-(開始時刻+10 分) 外部記憶ペーパー作成

Part 2 で参照する外部記憶ペーパーを、配布する用紙に、各自が手書きで作成します。
用紙は A4 両面が使えます。

作成の際には、教科書、配布物、ノート、参考書などのオリジナル、コピーなど、任意の
ものが参照できます(開始後の貸し借りはできません)。

なお、外部記憶ペーパーの作成は手書きに限ります。コピー機によるコピー、紙の貼り
付け、プリンタによる印刷はできません。

Part 2: (開始時刻+10 分)-(開始時刻+90 分) 答案作成

Part 2 開始時に問題を配布します。Part 1 で作成した外部記憶ペーパーのみを参照可
で答案を作成します。

スコアの算出方法 講義のファイナルトライアル終了時に、外部記憶ペーパーと答案の
両方を記名して提出してもらいます。スコアは答案だけから決定します。外部記憶ペー
パーは、今後の授業の参考とするためだけに使わせていただきます。

Part1, Part2 に共通する注意

- Part1, Part2 の間に休憩はありません。
- 遅刻して (開始時刻+10 分) 以降に入室する参加者は Part2 のみを行います。
- Part1, Part2 とも、他の人の資料、メモ、答案を参照すること、他の人と相談するこ
とは行わないでください。

趣旨 Part 1 で本や印刷物から転記するのではなく、あらかじめ、自分で重要と思う部分を
10 分間で写せる量にまとめて持ってくることをお奨めします。これは、持ち込みなしに
は解けないような難問を出すという意味ではありません。持ち込みなしでも解けてほし
い問題を出題しますが、脳の記憶負担に対する癒し効果のために外部記憶ペーパーを使
用します。

講義のファイナルトリアル出題計画

大注意: この計画は確定版ではありません. 2015-07-22 Wed までに精密化・確定します.
正規分布の上側確率 $Q(u)$ の表, t分布の $t_\alpha(k)$ の表は問題とともに配布します.
電卓不要.

- 連続型確率変数の確率, 母平均値, 母分散, 母期待値 (L08)
- 連続型確率変数の確率, 母平均値, 母分散, 母期待値 (L08)
- 連続型確率変数の変数変換 (L09) $f_Q(q)$ から $f_R(r)$ を求める
- 逆関数法による乱数生成 (L10) $g(y)$ を求める
- 複数ウォーカーのラグランジュ表現とオイラー表現 (L10)
- 母期待値の区間推定 (L11)
- 母比率の区間推定 (L11,L13)
- 中心極限定理を用いた近似によるランダムウォークの座標の確率の計算 (L11,L14)
- サンプルパスの特徴量を求める (L12) 関数 w を書く
- 母比率の検定 (L13) 選択 or 穴埋め問題